

**岩内沖に暖水塊が分布しており、沿岸では南下流、
沖合では北上流という、時計回りの循環になっています。
対馬暖流の北上流量はかなり少なく、気温の低下と相まって、
全体的に水温は低めとなっています。**

2019年12月に実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

岩内沖に暖水塊が分布し、沿岸では南下流、沖合には北上流という時計回りの循環となっています。南下・北上する流量を見積もると、檜山～岩内沖での正味の北上流量としては0.1～0.4Sv (1Sv=10⁶m³/s) 程度と、かなり少なめとなっています (図1c)。

表層水温は、11月以降の気温が低下したこと、また対馬暖流の北上流量が少ないことから、全体的に例年よりも1℃以上低く、特に南下流が分布する、岩内以南の沿岸域では例年よりも3℃程度低い状況です (図1a、b)。

余市前浜水温は、10月までは「平年並み」から「やや高い」の水温でしたが、11月に気温が低下したため11月下旬には「かなり低い」水温となりました。

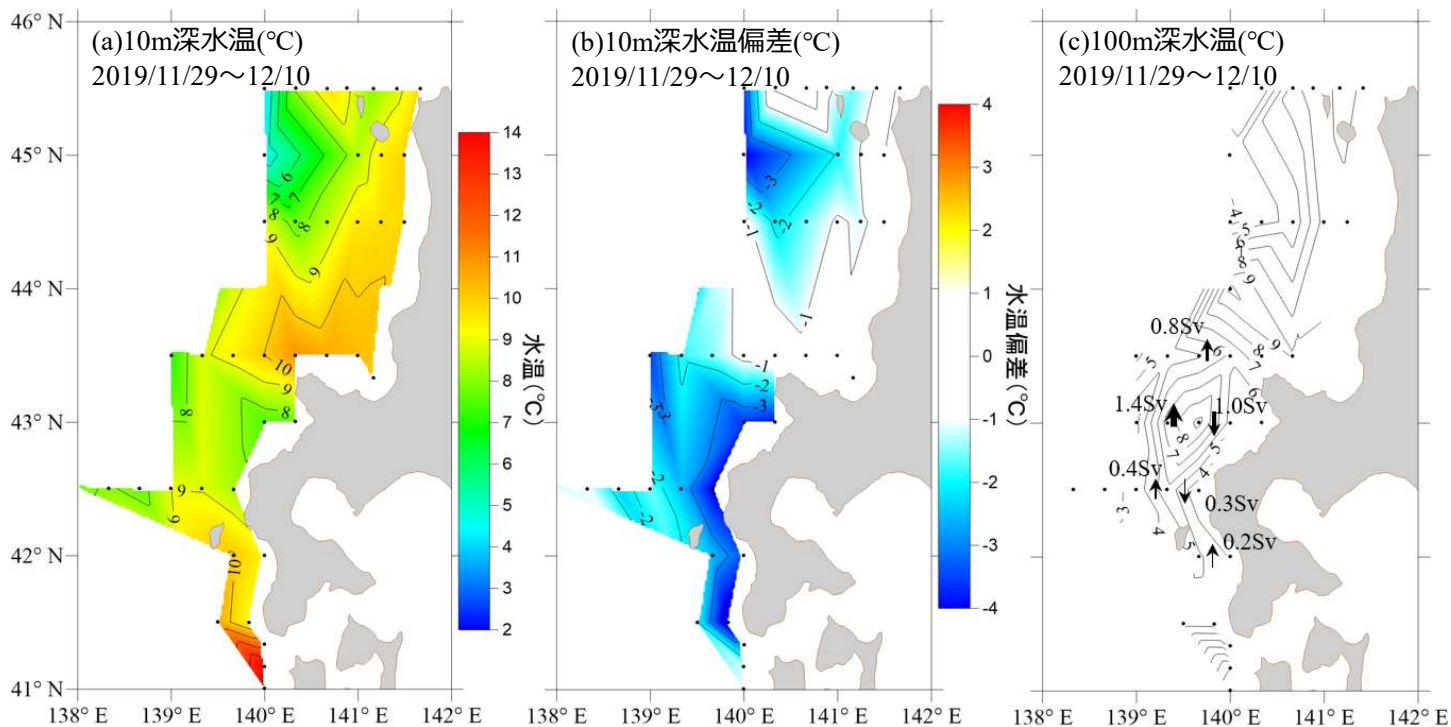


図1 2019年12月における (a) 10m層水温、(b) 10m層水温偏差 (30年平均値 (1989～2018年) からの差) の分布、(c) 100m層水温分布と対馬暖流の流路 (500db基準の地衡流より) (1Sv=10⁶m³/s)

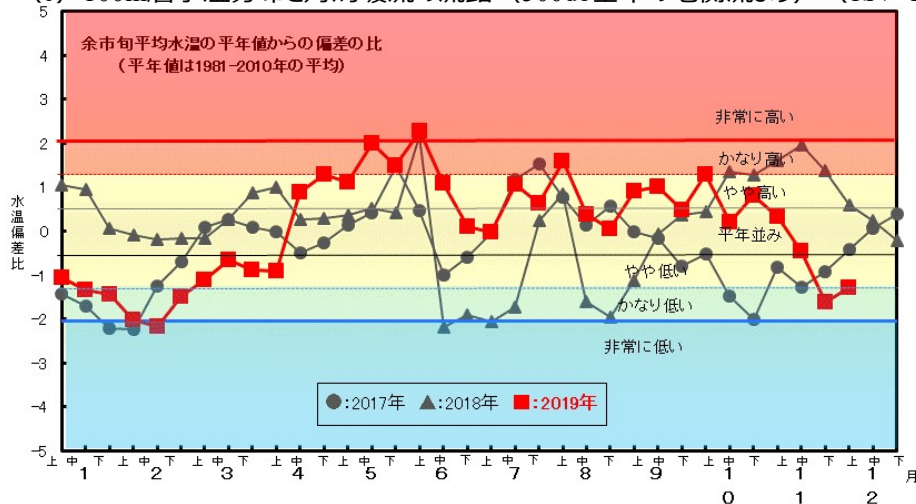


図2 余市前浜旬別水温の平年偏差比

最新版は
<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyousuion/index.html>
もしくは「余市前浜水温」で検索